平成27年8月20日、21日
上越市まち・ひと・しごと創生推進協議会
第4回部会（全部会共通）
資料3

地方創生に向けた各団体の事業概要シート（更新版・全団体一覧）

団体ID	団体名	個別事業ID	個別事業名	総合戦略の分野				事業の概要	想定されるスケジュール					備考
				しごと	子育て	まち	UIJ		H27	H28	H29	H30	H31	
A02	上越市商工会連絡協議会	10	特産品開発及び販路開拓による地域産業の活性化と雇用の維持・拡大	○				○特産品開発及び販路開拓により地域産業の活性化と雇用の維持・拡大を図る ・どぶろくを活用した特産品開発と販路開拓事業（牧商工会） ・地域の食材を活用したスイーツの開発と販路開拓事業（大潟商工会） ・地域の食材を活用した土産品開発と販路開拓事業（三和商工会） ・区内特産品の販路開拓事業（名立商工会）	販路開拓、試作品の商品化、新たな試作品・ツアーの開発、情報発信	→	販路開拓、情報発信	→	→	
A02	上越市商工会連絡協議会	20	観光客増加	○				○観光客増加により地域産業の活性化と雇用の維持・拡大を図る ・食による情報発信事業「上越どんぶり巡り」（上越南地区5商工会） ・上越市道の駅連携事業（名立、安塚、吉川商工会） ・鉄道資源を活用した地域活性化事業（中郷商工会）	販路開拓、試作品の商品化、新たな試作品・ツアーの開発、情報発信	→	販路開拓、情報発信	→	→	
A02	上越市商工会連絡協議会	30	地元購買促進による地域商業活性化	○				○地元購買促進により地域商業の活性化と雇用の維持・拡大を図る ・地域商業活性化事業 100円商店街（柿崎商工会、大潟商工会） 得するまちのゼミナール「まちゼミ」（吉川商工会） スタンプラリー（浦川原商工会ほか）	販路開拓、試作品の商品化、新たな試作品・ツアーの開発、情報発信	→	販路開拓、情報発信	→	→	
A03	えちご上越農業協同組合	40	総合機能を発揮した多様な担い手の育成・支援と地域農業の活性化	○				○総合機能を発揮した多様な担い手の育成・支援と地域農業の活性化 ・地域農業ビジョンの策定 ・青年部活動を通じた次世代農業後継者の育成						
A03	えちご上越農業協同組合	50	複合営農による園芸振興と地域条件に応じた特産品等の生産基盤の強化	○				○複合営農による園芸振興と地域条件に応じた特産品等の生産基盤の強化 ・上越野菜販路開拓と作付誘導 ・あるるん畑を核とする地産地消複合直営施設の設置						
A03	えちご上越農業協同組合	60	食と農のあり方を次世代につなげる親子教室や学校等への出前講座の開催	○	○	○		○食と農のあり方を次世代につなげる親子教室や学校等への出前講座の開催 ・子供対象の「ちゃぐりん道場」、若い世代対象の「よい食カレッジ」、学校等の「広がれ弁当の日」支援 ・JA女性大学「さくらカレッジ」による食・農・暮らしを軸とした活動の展開						
A03	えちご上越農業協同組合	70	親しみとふれあいのある暮らしの創出と地域活性化への貢献		○	○		○親しみとふれあいのある暮らしの創出と地域活性化への貢献 ・男性講座の開催、女性部組織の活性化 ・こころときめき活動（結婚支援活動）による出会いの場の提供						
A03	えちご上越農業協同組合	80	支店を核とした協同活動による地域コミュニティーの活性化			○		○支店を核とした協同活動による地域コミュニティーの活性化 ・各支店で支店協同活動を実施し、地域貢献活動にも積極的に取り組む						
A04	上越公共職業安定所	90	新規学校卒業予定者等に対する就職支援	○			○	(1)新規学校卒業予定者等に対する就職支援 ①高等学校卒業予定者に対する就職支援 ・高等学校と連携した個別就職相談の早期実施 ・応募前企業説明会（高校生就職準備ガイダンス）の実施 ・未内定生徒を対象とした企業説明会の開催 ②大学等卒業予定者に対する就職支援 ・大学等就職WEB提供サービスの活用 ・郷土就職ゼミナールの開催	継続	→	→	→	→	
A04	上越公共職業安定所	100	フリーター等の正規雇用化に向けた就職支援	○				(2)フリーター等の正規雇用化に向けた就職支援 ・上越わかもの支援窓口による担当者制による就職支援の実施 ・各種助成金を活用し、フリーター等の正規雇用化の促進 ・若者しごと館上越サテライト、上越地域若者サポートステーションと連携による就職促進	継続	→	→	→	→	
A04	上越公共職業安定所	110	U・Iターン希望者に対する就職支援	○			○	(3)U・Iターン希望者に対する就職支援 ・「にいがたUターン情報センター」と連携した就職支援の実施	継続	→	→	→	→	
A04	上越公共職業安定所	120	子育て女性等に対する再就職支援の推進		○			再就職支援の推進 ・子育て女性等に「マザーズコーナー」を周知し利用の促進に努める。 ・各種子育て支援サービス等に関する情報提供 ・求職者ニーズを踏まえた担当者制による就職支援の実施 ・子育て女性等を対象としたセミナーの開催 ・新潟県、上越市等の関係者による協議会を開催し、総合的な支援の実施	継続	同左	同左	同左	同左	

団体ID	団体名	個別事業ID	個別事業名	総合戦略の分野				事業の概要	想定されるスケジュール					備考
				しごと	子育て	まち	UIJ		H27	H28	H29	H30	H31	
A04	上越公共職業安定所	130	障害者の雇用対策の推進	○				障害者の雇用対策の推進 (1)障害者の再就職の促進 (2)雇用・福祉・教育・医療等の連携による一般雇用への移行の促進 (3)障害者の職業能力開発支援の推進						
A05	国立研究開発法人　農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合研究センター北陸研究センター	140	新品種・新技術による地域農業の競争力強化	○				○事業内容 ・作物の新品種育成と生産技術の開発ならびに育成品種・開発技術の農業者等への技術移転 ○事業目標 ・新品種・新技術を開発し農業者に技術移転することでその技術力を向上し、地域農業や食品産業等の発展と競争力強化に貢献する。 ○実施内容 ・地域農業に適した新品種の育成と生産技術の開発を行う。育成した品種、開発した技術をマッチングフォーラム、研修会、技術指導、技術相談等を通じて農業者等へ迅速に技術移転する。 ○実施体制 ・新品種・新技術開発は国立研究開発法人として定める中期計画に基づき実施。技術の評価や技術移転については農業者・農業団体、行政機関等と協力・連携する。	マッチングフォーラム等年度内事業を実施する。関係団体との協議	毎年実施の事業内容を計画立案し実施する。	継続	→	継続、評価と検証	参考資料
A05	国立研究開発法人　農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合研究センター北陸研究センター	150	農業と科学技術に対する市民理解の向上	○		○		○事業内容 ・農業と科学技術についての市民、児童・生徒への啓発活動 ○事業目標 ・農業と科学技術について、市民、児童・生徒への広報活動を行い、市民の理解を深めるとともに将来の人材育成の基礎とする。 ○実施内容 ・研究所一般公開、研究所見学、食と農の科学教室、有線放送話題　提供等により広報・啓発活動を行う。 ○実施体制 ・啓発活動については行政機関と協力・連携する。	マッチングフォーラム等年度内事業を実施する。関係団体との協議	毎年実施の事業内容を計画立案し実施する。	継続	→	継続、評価と検証	参考資料
A06	新潟県上越地域振興局	160	新潟県U・Iターンコンシェルジュ事業				○	1.目的 U・Iターンを希望する県外在住者に対し、県内の企業・団体等への就職支援や生活情報の提供等、総合的な支援を行うこと。 2.対象者 新潟県外に住むU・Iターンを希望する求職者(新卒者除く) 3.事業機関 平成27年5月1日～平成28年3月31日 4.サポート内容 ・希望する業種や職種、勤務地等についての個別相談に対応 ・ニーズに沿った企業へのアプローチ、企業との面談などのマッチングを実施 ・住居や学校、保育園などのU・Iターン後の生活に関する情報を提供 5.利用方法 ・相談に当たっては事前登録が必要(専用Webサイト(http://www.niigata-uitc.comで登録可) ・登録後、コンシェルジュから希望者に連絡し、個別相談を開始(登録及び相談は無料)	コンシェルジュ事業の開始 ※㈱パソナに業務委託					
A06	新潟県上越地域振興局	170	にいがた出会いサポート事業		○			新潟県では、独身男女に出会いの場を提供する「にいがた出会いサポート事業」を実施しています。 出会いのきっかけとなる各種イベントやパーティを企画・運営いただける方はお気軽にご連絡ください。 イベントの実施方法は、「県共催イベント」、「イベントアドバイザーサポーターズイベント」の2区分があります。 県は、イベント等に対し次の支援を実施します。 □県の広報媒体を活用した参加者募集等 □県共催又は県が関与するイベント等であることの明記を許可						
A06	新潟県上越地域振興局	180	地域づくり支援制度ライブラリー	○	○	○	○	1　概要 ○　市町村や地域づくり団体等の地域づくり活動を支援するため、国・県等が所管する地域づくり支援制度等に関する情報を提供するライブラリーです。 ○　地域づくりに活用できるソフト・ハードの各種助成制度、アドバイザー派遣制度、表彰制度を21のテーマごとに紹介します。 2　検索方法 次のURLから、「地域づくり支援制度ライブラリー」を検索してください。 http://www.chiiki.pref.niigata.jp/dukuri/library/index.html						
A06	新潟県上越地域振興局 (上越東農林事務所)	190	耕作放棄地での薬草栽培推進事業			○		平成27年度(初年度) ・検討会の開催：地域に適した品種選定、栽培適地の検討、地域の担い手の組織化等 ・先進地事例の視察 ・生薬メーカーの助言・指導 事業費　200千円 [内訳] 旅　費　100千円(研修講師@50,000×2回) 需用費　20千円(消耗品) 使賃料　80千円(バス借上) 次年度以降 ・休耕田を利用した試験栽培等を行い、定着に向けて継続的に事業を実施する。	現地視察、生薬メーカーの助言、検討会	未定				

団体ID	団体名	個別事業ID	個別事業名	総合戦略の分野				事業の概要	想定されるスケジュール					備考
				しごと	子育て	まち	UIJ		H27	H28	H29	H30	H31	
A07	上越教育大学 (地域連携推進室)	200	地域連携・大学間連携事業	○		○		○地域連携推進室における事業展開 ・別紙「平成27年度地域連携推進室に係る地域連携・大学間連携等の主な事業・活動構成」にあるとおり、「基幹的な地域連携推進事業」、「公募型地域貢献事業」、「出前講座」、「公開講座」、「大学等との連携推進事業」、「産学官に関する連携事業」など、本学の教育研究で培った様々な資源を有効に活用した各種事業を、本学地域連携推進室の下で、教職員、学生、本学各組織が、地域の自治体や産業界、また、大学等との連携を得て実施している。 ・直接、「しごとづくり」又は「まちの活性化」と結びつかない事業もあるが、何らかのかたちで貢献できているのではないか。 ・ほかにも、教員個々、各センターやコース・科目群などの組織が、それぞれの専門性や資源を活かし、地域の各種団体・機関からの要請などに基づき連携した活動(共同研究など)をしていると考えられる。(活動状況は把握していない。)	別紙のとおり実施	各種事業の改善・見直し(新設・改廃を含む。)の上、同規模で実施	各種事業の改善・見直し(新設・改廃を含む。)の上、同規模で実施	各種事業の改善・見直し(新設・改廃を含む。)の上、同規模で実施	各種事業の改善・見直し(新設・改廃を含む。)の上、同規模で実施	参考資料
A07	上越教育大学 (地域連携推進室)	1050	基幹的な地域連携推進事業			○		1 戦略的な地域教育連携事業 2 上越地域教育委員会との連携推進事業 3 上越市学校教育支援事業 4 教師の専門職化をフォローする研修体制の構築事業 5 総合的な教師力向上のための調査研究事業						
A07	上越教育大学 (地域連携推進室)	1060	公募型地域貢献事業			○								
A07	上越教育大学 (地域連携推進室)	1070	各種講座・講習等			○		○出前講座 ○公開講座 1 一般公開講座及び現地教員公開講座 2 免許法認定公開講座 3 新潟県立看護大学との連携公開講座 ○文化講演会 ○各種講習 1 学校図書館司書教諭講習 2 特別支援学校教員専門性向上事業免許認定講習 3 教育職員免許法認定講習						
A07	上越教育大学 (地域連携推進室)	1080	大学等との連携推進事業			○		1 新潟県立看護大学との連携推進事業 2 新潟大学との連携推進事業 3 信州大学との連携推進事業 4 独立行政法人国立青少年教育振興機構国立妙高青少年自然の家との連携推進事業 5 富山大学、富山国際大学との連携推進事業 6 高等教育コンソーシアムにいがたによる事業 7 上越市、妙高市、糸魚川市(糸魚川ジオパーク協議会)との連携医協力事業 8 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会との連携事業						
A07	上越教育大学 (地域連携推進室)	1090	産学官に関する連携事業			○		1 上越市とのものづくり支援パートナー協定事業 2 上越技術研究会との産学交流事業						
A07	上越教育大学 (地域連携推進室)	1100	各種事業			○		1 春日山城跡等の整備・活用事業 2 新幹線まちづくり推進上越広域連携会議による事業 3 上越市「三城物語」検定 4 新潟県ICT研究会事業						
A08	新潟県立看護大学	210	出前講座		○			○看護研究交流センターにおける事業展開 ・地域の教育機関、市民団体及び企業等の求めに応じて、本学教員が出向いて講義等を行う出前講座を実施している(平成26年度～)。 ・平成27年度は用意した18テーマのうち、「子どもには生きる力がある」「いざという時に役立つホームケア」「自分のからだ・健康・いのちについて考えてみよう」が子育て支援に関連する内容である。小児看護学の教員2名が講師である。 ・看護研究交流センターのホームページから申し込む。依頼者側から旅費を負担していただく。	随時申込み	随時申込み	随時申込み	随時申込み	随時申込み	
A09	上越信用金庫 (融資部 企業支援室)	220	上越創業支援ネットワーク事業	○				・上越信用金庫が、上越市、上越商工会議所、㈱日本政策金融公庫の3機関と連携し、「創業支援ネットワーク」を設置。 ・本ネットワークに行政や経済団体、金融機関などの情報、ノウハウと集約しながら、創業希望者が創業しやすい環境を整備し、創業を促進することで、地域経済の活性化に結びつける。 ・創業前の創業相談、資金相談、創業セミナー、創業塾の開催。 ・創業後の創業フォローアップの実施。	ネットワーク網の拡大(第四銀行、北越銀行、八十二銀行の参加)	継続 実施内容の評価・検証	→	→	→	
A09	上越信用金庫 (融資部 企業支援室)	230	上越地域連携プラットホーム事業	○				・上越信用金庫が代表機関となり、上越商工会議所、新井商工会議所、糸魚川商工会議所、新井信用金庫、糸魚川信用金庫の5機関と連携し、登録支援機関「上越地域プラットホーム」を設置。 ・主に、ITシステム(支援ポータルサイト:通称ミラサポ)を活用し、専門家派遣事業、合同セミナー、ビジネスマッチング、連絡協議会、合同研修会等の地域機関連携を行い、地域の中小企業・小規模事業者へのビジネス創造や経営改善・革新等のサポートを行うことで、地域経済の活性化を図る。	支援機関向け及び企業経営者向けセミナーの実施 実施内容の評価・検証	継続 実施内容の評価・検証	→	→	→	

団体ID	団体名	個別事業ID	個別事業名	総合戦略の分野				事業の概要	想定されるスケジュール					備考
				しごと	子育て	まち	UIJ		H27	H28	H29	H30	H31	
A09	上越信用金庫 （融資部　企業支援室）	240	信州大学繊維学部との産学金連携	○				長野県信州大学繊維学部との業務連携により、取引先企業の技術開発や製品開発等について大学への橋渡し役を担い、取引先企業の課題解決の支援を行いながら、地域経済の活性化を図る。	継続　実施内容の評価・検証	→	→	→	→	
A09	上越信用金庫	250	各種ローン・積金等の円滑な提供		○			若い世代の経済的安定、結婚、出産・子育てへの支援、仕事と生活の調和を図るため、金融機関の本業を意識した課題解決支援を実施。 ◆各種ローン（カードローン、カーローン、教育ローン、ブライダルローン、住宅ローン）の提供。経済負担を考慮した金利優遇もあり。 ※地域に就職する若年層、地元出身の新社会人、Uターン、Iターンの新社会人への支援等、あらゆる場面での円滑な資金提供を支援。 ◆ファミリーサポート積金の提供 余暇・レジャー、健康・医療、生活サービス(保育・介護)等のさまざまな生活シーンで利用できる「ライフサポートサービス」や24時間電話健康サービス、セカンドオピニオン、糖尿病臨床医紹介サービス、あたまの健康チェックテスト等が無料で利用できる「健康関連サービス」が付加されている積金。	継続　実施内容の評価・検証	継続　実施内容の評価・検証	継続　実施内容の評価・検証	継続　実施内容の評価・検証	継続　実施内容の評価・検証	
A09	上越信用金庫 （ふるさと絆プロジェクト作業部会）	260	ふるさと絆プロジェクト事業			○		当金庫は経営理念に掲げているとおり、地域社会の繁栄を願い、人々の夢の実現と中小企業の発展に貢献していくことが、地域金融機関としての社会的使命であると考えております。 　これら「信用金庫の原点」でもあります取組みを一層強化していくため、「ふるさと絆プロジェクト」を立ち上げ、２つの柱を基に継続的な活動を行っています。 　一つは、『課題解決型金融への取組み』です。 　活力ある地域経済の活性化と中小企業への各種サポート、事業性評価に基づいた融資、コンサルティング機能の発揮により一層の金融仲介機能を強化し、地域密着型金融を通じて地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。 　もう一つは、『地域貢献活動』です。 　金融機能の提供にとどまらず様々な地域貢献活動の実施により、地域における存在感を一層高め、地域に暮らす皆様との密接な関係を継続してまいります。 　上越信用金庫は、常に「地域」を大切に活動を行ってまいります。	H27年度計画事業の実施　実施内容の評価・検証	H28年度計画事業の実施　実施内容の評価・検証	H29年度計画事業の実施　実施内容の評価・検証	H30年度計画事業の実施　実施内容の評価・検証	H31年度計画事業の実施　実施内容の評価・検証	
A10	連合新潟上越地域協議会	270	働くことを軸とする安心社会の構築事業	○				「働くことを軸とする安心社会」は、働くことに最も重要な価値を置き、誰もが公正な労働条件のもと多様な働き方を通じて社会に参加でき、社会的・経済的に自立することを軸とし、それを相互に支え合い、自己実現に挑戦できるセーフティネットが組み込まれている活力あふれる参加型の社会である。 知識や学歴によってその夢を果たすことができないでいる若者。非正規労働で働き、将来の展望が見いだせない労働者。職場の理解も得られずに就労をあきらめている母親。親の介護で支援を受けられず就労をあきらめざるを得ない労働者。トラブルで職を失ったり、心身の障がいから就職先が見つからない失業者。年をとってこれまでのようなかたちでは働くことが困難になった人々は、もっと柔軟なかたちで働ける就労環境を望んでいるのに彼らの力を活かせる職場が少ない。社会参加したいのにそのような機会が限られている。 そのための具体的な活動として 　１. 地域の問題点を掘り起こすため労働相談ダイヤルを常設し、個々、団体の問題解決を行う。また、メンタルダウンしている相談者には連携機関への取り次ぎ等を行っている。 　２. 最低賃金、ワークルール等の啓発のため、街頭行動等を行っている。 　３. 基礎的なワークルールを知らないまま社会へ出て、トラブルによる離職を防ぐため、学校等へ出向き出前講座を行うとともに、チラシ等の配布を行っている。 　４. 関係自治体へ労働問題に対する要請を行っている。	継続	→	→	→	→	
A11	上越市町内会長連絡協議会	280	地域コミュニティの窓口と人材育成事業			○		当協議会は市政執行の円滑な運営に協力するとともに、関係機関等に対して所要の連絡を密にし、市の発展に寄与することを目的に市内816の町内会で組織している。 〈町内会長まちづくりの集い〉 地域コミュニティの核である町内会を代表する町内会長（816人）や町内会役員等を対象に、市長による市政に関する講話やまちづくりの専門家による講演会を実施し、まちづくりに関する情報を提供することで地域の活性化や課題解決に取り組む。（6月下旬開催） 〈先進地視察研修〉 歴史的街並みを活かしたまちづくりや防災のまちづくりに取り組む市外の先進地等の視察を行い、各地域の活動に活かす。（10月下旬～11月上旬実施）	町内会長まちづくりの集い、先進地視察研修	左同	左同	左同	左同	
A12	上越市小中学校PTA連絡協議会	290	小中学校PTA連絡協議会研究大会		○			期　日：平成27年11月23日（月・祝） 会　場：上越文化会館大ホール 参加者：市内小中学校PTA会員　1,500人 開催目的：子どもたちの抱えている課題を把握し、今後のPTA活動の方向性を参加者全員で模索する。 内　容：著名な講師による講演会を実施する予定です。（現在交渉中） 　　　講演内容は今年度、市P連が取り組んでいるアウト・メディアの推進に関係する内容でお願いします。 　・メディアの利便性と危険性を踏まえた正しい使い方の一層の周知 　・携帯・スマホに係る問題 　　学年を追うごとに携帯依存が顕著になり生活習慣が乱れること。 　　ライン等による友人間のトラブルが発生していること。	講演会	未定	未定	未定	未定	

団体ID	団体名	個別事業ID	個別事業名	総合戦略の分野				事業の概要	想定されるスケジュール					備考
				しごと	子育て	まち	UIJ		H27	H28	H29	H30	H31	
A12	上越市小中学校PTA連絡協議会 （各ブロック）	300	ブロック別 交流親善大会		○			市内を10ブロックに分け、各ブロックでPTA会員相互の交流と親睦を深めるために実施している。 内　容：各ブロックにより実施種目は異なるが、野球大会、バレーボール大会を実施しているブロックが多い。 　　　　その他の種目としてはソフトバレー、ボーリング、綱引きなど。 　　　　各ブロックが趣向を凝らして実施している。 　　　　その後、懇親会（情報交換会）を実施し、更なる親睦を図っているブロックもある。	交流親善大会	左同	左同	左同	左同	
B01	金谷北地区農村元気会	310	集落活性化に向けた地域の将来ビジョンの作成	○				1　地域の将来ビジョンの作成 ⑴　大学教授を招聘し、多角的な視点からのアドバイスを受けるワークショップを開催する。 ⑵　地域住民の意識改革を促すため、将来ビジョンを作成する。	地域の将来ビジョン作成					
B01	金谷北地区農村元気会	320	コメや野菜の特産化と販売方法の拡大	○				2　コメや野菜の特産化と販売方法の拡大 ⑴　地域特産物の発掘と集荷方法の検討と実施 ⑵　購買者のためのサービス体制の構築（朝市・トラック市、正善寺工房等の直売所の活用）	米野菜の特産化	米野菜の特産化	地域住民の意見を取り入れながらの展開	→	→	
B01	金谷北地区農村元気会	330	集落活性化に向けたイベントの実施と地域PR・バス利用促進	○				3　イベントの実施と地域PR・バス利用促進 ⑴　地域資源（歴史や文化）を活用したイベントの実施 　・イベント実施体制の確立と近隣へのPR 　・地域住民のイベントへの参加と意識改革 　・正前寺線バス利用を促進し、地域発展の足がかりとする ⑵　地域資源の再発見のための講師招聘による講演会を行う	イベントの実施　等	春日山の活用とイベント実施	地域住民の意見を取り入れながらの展開	→	→	
B01	金谷北地区農村元気会	340	野生鳥獣被害対策	○				4　野生鳥獣被害対策 ⑴　イノシシ被害対策の実施：電気柵の設置と捕獲、見回り ⑵　捕獲したイノシシを活用した地域住民の親睦・交流の促進検討		イノシシ被害対策と活用	地域住民の意見を取り入れながらの展開	→	→	
B02	上越市中山間地域元気な農業づくり推進協議会	350	上越市中山間地域元気な農業づくり推進事業	○		○		中山間地域等直接支払交付金を活用し、農地保全と担い手育成を推進することにより、中山間地域農業の振興を図る。また、地域マネジメント組織を核とした中山間地域の農業と農村を持続的に担う体制の確立を図る。 ○農産物等庭先集荷サービス事業、多様な主体との連携活動支援事業、ふるさと玉手箱事業による支援（市補助事業） ○推進協議会、現地研修会等の開催 ○国の「農村集落活性化支援事業」の活用と取組支援 ・2つのマネジメント組織を含む市内4地区が平成27年度から5か年計画で農村の維持活性化を図る取組を実施する。 （事業実施者：櫛池農業振興会、板倉区中山間地域農業振興会、川谷もより協議会、金谷北地区農村元気会）	地域マネジメント組織等への支援・協力	→	→	→	→	
B03	上越発酵食品研究会	360	発酵食品の研究開発と「発酵のまち上越」のPR	○				農水・商・工連携により、発酵食品による地域ブランド創りを通じて、「発酵のまち上越」を確立する。 【実施体制】 　別紙のとおり 【取組内容】 　・市の支援メニュー等を活用し、既存の発酵食品の磨き上げや発酵を活用した新商品開発を促進 　・上越の伝統食品として、食育やイベント参加による啓発活動 　・研究会の活動に関する情報の受発信 　・上越の発酵食品の販路拡大 今後はより多くの市民から「発酵のまち上越」をPRしてもらえる体制をつくる。	発酵のまち上越のブランド発信	→	→	→	→	
B05	雪だるま財団	370	雪エネルギーを活用した商品研究・開発	○				○雪エネルギーを活用した商品研究・開発（（仮称）雪むろ食品推進プロジェクト） 　　雪をキーワードに上越地域における新たな雪むろ食品のブランド化を目指した「（仮称）雪むろ食品推進プロジェクト」を立ち上げ、雪むろ食品を開発し販売する。開発した商品を広く紹介し、あわせて地元飲食店での活用促進を図る。						
B05	雪だるま財団	380	農山漁村・自然を活用した体験交流の受入	○				○農山漁村・自然を活用した体験交流の受入（越後田舎体験推進協議会） 　　観光自然を農山漁村・自然・人と捉え、「体験交流」を観光の目玉としてほんものの体験・暮らしを提供できる地域として売り込む。						

団体ID	団体名	個別事業ID	個別事業名	総合戦略の分野				事業の概要	想定されるスケジュール					備考
				しごと	子育て	まち	UIJ		H27	H28	H29	H30	H31	
B06	上越商工会議所政策委員会（飛田Ｇ）	390	地方創生による総合福祉特区の開発提案 北陸新幹線上越妙高駅周辺の活性化 「かがやき」停車推進プロジェクト ※本事業は活力ある地域社会 を維持することを目指し、 地域として取り組んで行く べき事業としての提案です	○		○		・総合福祉事業特区を設置。（総合病院などの医療機関を核とする） ・介護施設不足の深刻化が進む東京圏の市または区などと提携し介護者移住を促進、受入れ地となる当市においては新たに1000人規模の雇用機会の創出、定住人口の増加を図りたい。ただし、上越市の介護保険事業を圧迫させない措置が同時に必要。 ・特区は上越妙高駅周辺に設置。 ・総合病院、特別養護老人ホーム、専門学校（看護・介護・保育士）、里山環境の改善を組み合わせた再生可能エネルギーの導入　・・・など ・先ごろ行われた日本創生会議において、上越市は「医療・介護サービスを十分に受けられる可能性が高い地域」に挙げられており、北陸新幹線効果により東京から2時間圏域で往来が出来るなど、他候補地と比較して交通利便性が非常に高い。 ・さらに、上越市は豊かな自然と重厚な歴史と街並みが織り成す郷土色あふれる地域であることから、単に介護サービスを受けるだけでなく、都会の雑踏を離れ、ゆったり・健康的なセカンドライフを過ごしてもらえるポテンシャルを有しているなど、中高年層の取り込みに優位的である。 ○エリア構想 ①上越妙高駅・東口 ・総合病院、特別養護老人ホーム、各種学校、再生可能エネルギー導入地域など ②上越妙高駅・西口 ・高齢者と共生する保育園、商業施設やマンション、ホテル開発など ※全て提案イメージです ○想定される事業推進団体（あくまで想定として） ・自治体（上越市、新潟県、東京圏） ・民間企業（飛田グループを中心とした上越地域の介護・医療事業者、銀行など） ・学校（大手専門学校、地元大学など）	プロジェクトの内容精査とともに、事業推進団体への働きかけ	構想の具現化に向けた基本計画作成、折衝、及び特区認定	プロジェクト実施計画及び実施着手	プロジェクト推進	施設の稼働	
B07	株式会社大光銀行	400	各種金融支援、非金融サービス、情報提供	○	○	○	○	・上越市の総合戦略策定および実現に向け、地域金融機関として各種金融支援、非金融サービス、情報提供等の多面的な商品・サービスを提供する。 ＜具体的な取組施策の事例＞ ・創業者や地域企業への金融支援、非金融サービス、情報提供等 ・クラウドファンディングを活用した地域産品のPR ・空き家ローンの活用 ・リバースモーゲージローンの活用 ・医療・介護・福祉分野、農業分野、環境分野への支援 ・ビジネスマッチング、商談会等の販路開拓の機会提供 ・各種セミナーの開催による情報提供 ・外部専門機関の紹介 など・・・	左記のとおり	未定	未定	未定	未定	参考資料
B08	株式会社第四銀行	410	地場産業の競争力強化に向けた創業・事業承継支援	○				【創業・事業承継支援】 目標：地域の新しい事業柱の育成支援、既存産業の持続的な発展の支援 現状の取組：創業セミナーの開催、事業承継へのコンサルティング、Ｍ＆Ａの仲介 将来的な取組：助成金を活用した新たな地場産業の支援、既存産業の持続的な発展の支援 連携機関：上越市、新潟県信用保証協会、日本政策金融公庫、Ｍ＆Ａ提携会社	サービス提供の準備、関係団体との協議	サービス提供の準備、関係団体との協議	サービス提供の開始、進捗状況のチェック	継続、見直しの実施	実施内容の評価及び検証、更なる向上へ	
B08	株式会社第四銀行	420	地場産業の競争力強化事業に向けた販路拡大支援	○				【販路拡大支援】 目標：メイドイン上越産の全国へのPR 現状の取組：新潟県内外でのビジネスマッチング、展示会・商談会の開催、ブリッジにいがたを活用した観光・地元産品のPRを東京へ直接発信 将来的な取組：クラウドファンディングの活用提案、導入サポート 連携機関：上越市、大学、他金融機関	サービス提供の準備、関係団体との協議	サービス提供の準備、関係団体との協議	サービス提供の開始、進捗状況のチェック	継続、見直しの実施	実施内容の評価及び検証、更なる向上へ	
B08	株式会社第四銀行	430	地方都市における経済・生活圏の形成に向けた住宅取得促進				○	【住宅取得促進】 目標：移住者の居住を安心してサポートできる体制作り、小さな拠点の仕組づくり 現状の取組：①中古住宅の担保評価を売買価格を前提とした商品内容の充実 ②上越ローンプラザによる利用しやすい相談窓口の充実 将来的な取組：「中古住宅の情報館」として市・民間業者・金融機関による共有化された情報データの提供（築年数・建築業者名・町内案内図ほか） 連携機関：上越市、住宅関連業者、不動産業者	サービス提供の準備、関係団体との協議	サービス提供の準備、関係団体との協議	：サービス提供の開始、進捗状況のチェック	継続、見直しの実施	実施内容の評価及び検証、更なる向上へ	
B08	株式会社第四銀行	440	地方都市における経済・生活圏の形成に向けたPFI・PPPの推進				○	【PFI／PPPの推進】 目標：PFI／PPPの潜在ニーズの具現化 現状の取組：PFI/PPPセミナの開催、地公体ニーズの具体的なサポート、新潟県との共同セミナーの開催 将来的な取組：地方の公共施設のPPP活用提案、マーケット調査支援、事業計画策定支援 連携機関：新潟県、上越市、中核企業、他金融機関	サービス提供の準備、関係団体との協議	サービス提供の準備、関係団体との協議	：サービス提供の開始、進捗状況のチェック	継続、見直しの実施	実施内容の評価及び検証、更なる向上へ	

団体ID	団体名	個別事業ID	個別事業名	総合戦略の分野				事業の概要	想定されるスケジュール					備考
				しごと	子育て	まち	UIJ		H27	H28	H29	H30	H31	
B09	株式会社富山第一銀行 （直江津支店）	450	仕事つくり事業、就労支援事業	○				「地域（ふるさと）創生ファンドの提供」 ・貸出条件面での金利優遇 ・事業計画の策定支援（目利き力による融資） ・専門家派遣支援 ・各種事業にマッチした補助金情報の提供 ・当行ネットワークを利用したビジネスマッチング情報提供						
B09	株式会社富山第一銀行	460	「地方創生」に対する推進体制			○		・各地方自治体の「地方版総合戦略」の策定に関し、当行は情報提供・分析・提案等を積極的に行います。 ・ビジネスソリューション部を本部とし、富山県内の16自治体、新潟県内の2自治体について当該自治体を拠点とする支店の支店長等を「地方創生担当窓口」に任命しました。 　また、当行ビジネスプラザ支店にビジネスソリューション専担者を3名配置し、体制整備に努めています。今後プロジェクトチームを立ち上げ、推進体制のさらなる構築を図る予定です。 ・「しごと」と「ひと」の好循環作りを加速させるため、当行では「ビジネスマッチング」、「創業・新事業支援」、「海外事業支援」及び「事業再生・資源再配分」といったサポート機能を発揮するとともに、「地域（ふるさと）創生融資」等の提供を通じ、地方創生支援に向け本部、営業店が一丸となって取り組みを進めていきます。						
B10	八十二銀行 （高田支店）	470	八十二銀行の地方創生に向けた取組	○				・別添「八十二銀行の地方創生に向けた取組」に基づく地方版総合戦略策定への協力 ・想定している取組方針、サポート内容につきましては別添資料参照願います。 　※一部長野県向け施策については対象外となります。（コクーキングスペース、サポートファンド等） ・具体的には、補助金を活用した創業支援への協力が、一番現実的であると考えます。	関係団体との協議	サービス提供のための準備、サービス提供の開始	継続	→	継続 実施内容の評価・検証	
B11	株式会社北越銀行 （高田支店）	480	「地域企業応援パッケージ」による「しごとづくり」への貢献事業	○				1．背景（「地域経済分析システム(RESAS)のデータより） 　・企業数の減少（2009年と2012年の比較：469社減少） 　・創業比率の低迷（2009年～2012年：全国平均1.84%に対して1.37%） 2．目的・目標 　地域産業の競争力強化と雇用の創出 3．実施内容（「地域企業応援パッケージ」の実施） 　①ふるさと投資（クラウドファンディング）、②総務省の「地域経済循環創造事業交付金」、③六次産業化ファンド、④技術協力室、⑤日本政策金融公庫との女性活躍応援連携融資パッケージ「トップレディー」など当行の金融・コンサルティング機能を発揮していくことで、創業、地域資源活用、地域ブランド化、成長分野強化、女性の就労先確保などを支援していく。 4．実施体制 　上越市内3ヶ店（高田支店、直江津支店、南高田支店）と本部（コンサルティング営業部他）が、貴市（「メイドイン上越」認証制度とも連動)ならびに長岡技術科学大学・長岡造形大学など大学や外部機関とも連携し、上記事業を進めていく。なお、上記3．①については補助金を検討いただきたい。	関係団体との協議、金融・コンサルティング機能の提供	→	→	→	→	
B11	株式会社北越銀行 （直江津支店）	490	「地域企業応援パッケージ」による「まちの活性化」への貢献事業			○		1．背景 　①2014年4月、公共施設等総合管理計画策定要請。2015年6月、骨太の方針に人口20万人以上の自治体のインフラ整備にPPP／PFI検討原則化 　②地域交流・地域支え合いの拠点としての機能強化の必要性 2．目的・目標 　公共施設・公的不動産の利活用についての民間活力の活用、安心な暮らしの確保 3．実施内容（「地域企業応援パッケージ」の実施） 　①PPP／PFI事業化・組成支援 　　独立採算型による地域密着型PFI事業の取り組みサポート 　②高齢者見守り事業への協力 　　日常活動の中で発見した異変を関係部署に連絡 4．実施体制 　①民間資金等活用事業推進機構などと連携 　②貴市による事業実施が前提（警察・消防、他金融機関、社会福祉協議会などと連携）	関係団体との協議、金融・コンサルティング機能の提供	左同	左同	左同	左同	
B12	新潟県信用組合 地方創生推進委員会	500	地方版総合戦略の策定・推進に向けた協力			○		・「けんしん地域活性化支援資金」による金融支援　平成27年5月1日～平成28年3月31日 ・関係団体との協議、連絡による協力体制の策定	関係団体との協議、地方創生委員会の立ち上げ					参考資料
B13	日本政策金融公庫　高田支店	510	事業創生プロジェクト	○				○事業創生プロジェクト ・日本公庫では、「新規開業資金」などのご融資を通じて、あらたに事業を始める方や事業開始後の方のお手伝いをさせていただきます。地元での開業企業数を増加させ、地域の雇用を創出していきます。具体的には、上越市創業ネットワークのメンバーとして、創業セミナーの開催や公庫創業サポートデスクを通じて、様々な情報提供や提案と創業を志す方のバックアップを行っていきます。	創業支援セミナー、創業塾の開催支援、販路開拓支援	→	→			

団体ID	団体名	個別事業ID	個別事業名	総合戦略の分野				事業の概要	想定されるスケジュール					備考
				しごと	子育て	まち	UIJ		H27	H28	H29	H30	H31	
B13	日本政策金融公庫　高田支店	520	事業継続支援プロジェクト	○				○事業継続支援プロジェクト ・事業の安定と発展、廃業の抑制を図るためのお手伝いをさせていただきます。事業所の維持・発展は、地域の雇用増加にもつながり、市内への人の流入にもつながります。具体的には、全国152支店網を活かしたビジネスマッチングシステムの活用や公庫主催の国内最大規模の国産農産物展示商談会(アグリフードEXPO)を通じての、上越市内の企業家や農業家等の販路の開拓支援を行います。また、廃業の抑止に資する事業承継支援資金を通じての金融支援を進めていきます。	創業支援セミナー、創業塾の開催支援、販路開拓支援	→	→			
B13	日本政策金融公庫　高田支店	530	子育て支援プロジェクト		○			○子育て支援プロジェクト 日本公庫の「国の教育ローン」は、「家庭の経済的負担の軽減」及び「教育の機会均等」を目的として、昭和54年に創設されました。これまでに全国で延べ500万件のご利用をいただいております。 日本公庫では、昨今の厳しい経済状況において多くのご家庭で教育費負担が増大している中、「国の教育ローン」を通じて、国内外の大学、専修学校、高校などの進学・在学されるお子さまをお持ちのご家庭の方を対象に融資による修学面の支援を行っていきます。	地元高等学校等への周知	同左	同左			
B13	日本政策金融公庫　高田支店	540	ソーシャル支援ネットワーク構築プロジェクト			○		○ソーシャルビジネスネットワーク構築プロジェクト ・日本公庫では地域社会の課題解決に取り組み、安定的な雇用を創出しているソーシャルビジネスの担い手である、NPO法人など地域の問題を解決しようとする事業者さまを積極的に支援しています。 ・日本公庫でソーシャルビジネス支援等の経営支援を目的とするセミナーを全国各地で開催しています。 ・社会的課題の解決を目的とする事業者さま、保育サービス、介護サービス等を営む方、NPO法人などを対象とした「ソーシャルビジネス支援資金」を創設いたしました。 ・上越市や支援機関さまと連携させていただくことにより、NPO法人などの事業者さまからの融資のご相談・お手続きに対して、迅速に対応できます。	(1)ソーシャル支援ネットワーク構築プロジェクト ・・・ソーシャル支援ネットワーク構築	(1)セミナー開催等支援事業の検討・実施				参考資料
B13	日本政策金融公庫　高田支店	550	高校生ビジネスプラングランプリ			○		○高校生ビジネスグランプリ ・活力ある日本を造り、地域の活性化のためには、次世代を担う若者の力が必要です。高校生を対象に実社会で求められる「自ら考え、行動する力」を培うことを目的に日本公庫では「高校生ビジネスプラングランプリ」を開催しています。第2回(平成26年度)グランプリには全国1,717件(207校)のエントリーがあり、最終審査会に選ばれた10校が東京大学伊藤謝恩ホール(東京都文京区)プレゼンテーションに臨みました。 ・日本公庫では応募いただいた高校を訪問し、ビジネスプランや資金計画の作り方などについて「出張授業」を行っています。	(2)高校生ビジネスグランプリ ・・・エントリー締め切り9/18	(1)セミナー開催等支援事業の検討・実施				参考資料
B14	株式オアシス	560	上越まるごと応援隊 MogMogシスターズプロジェクト	○				1. 上越市の食材を使ったイベントの計画 2. トラックを使った移動PR部隊の都会への派遣(MogMogシスターズ) ・地域の農産物:米・野菜・加工品など ・地域のイベントの紹介PR(観光) ・ツアー商品の紹介など 3. 旅行代理店を共に行うMogMogツアー(雇用) 上記についての計画を実行 これらについて新規雇用を生む	「農」に携わる方々、各方面との連携、イベント:シスターズ教育	旅行企画 MogMogシスターズ始動(都内イベント)	新加工品等の取り組み	継続的な運営	振り返りと新たな企画	
B15	上越商工会議所政策委員会(謙信)	570	謙信公聖地構想/春日山城を核とした「しろ巡り＆まち歩き＆食べ歩き」	○		○		・上越商工会議所と(公社)上越観光コンベンション協会がH26年策定した「謙信公・聖地(フィールド・ミュージアム)」構想を推進し、観光交流人口の拡大を図る。 ・上越市の観光振興重点地区である「春日山城跡」の景観整備・観光客の受入れ体制の構築、地域資源を活用した物産品・食の開発を通して魅力向上を図る。 ・同構想の各事業を順次実施していくことで「謙信公・春日山」に観光客を呼び込み、同所を起点とした市内周遊ルートを構築し、経済波及効果を作りだす。＝上越市観光の産業化 ・上越商工会議所、(公社)上越観光コンベンション協会、自治体、市内事業者、地域連携(上田市等)を想定している。	モニターツアー、旅行エージェントとの商談会を実施	武将鎧購入、旅行商品化に向けた取り組み、消費地誘導スタンプ作成	以後は、トライ＆エラーを繰り返し、事業をブラッシュアップ	→	→	
B16	上越観光コンベンション協会	580	魅力ある観光地づくり事業			○		当協会では、観光事業及びコンベンション事業を当市への誘客の主軸とし、観光交流人口を拡大させ、経済波及効果・定住人口の増加につなげることを目標とする。 ○観光施設の運営:上越妙高駅、高田・直江津駅観光案内所の窓口業務、海水浴場等の管理運営 ○観光イベント:高田城百万人観桜会の運営 ○観光宣伝事業:上杉謙信公、春日山、高田公園の桜を中心にPRを展開 ○食を通じたPR:飲食店ガイドブックの作成、ご当地グルメの開発・普及 ○着地型旅行商品の開発:観光ボランティアガイド、二次交通、体験型商品 ○広域観光ネットワークの推進:上越・妙高市連携事業、新潟・佐渡・上越市の3市周遊ルートの形成、 ○コンベンション誘致:学会・スポーツ大会の誘致、コンベンション主催者への支援 ○観光物産展推進事業:姉妹都市等での物産展の開催 ○各種事務局:フィルムコミッション、上越まつり、上越蓮まつり、レルヒ祭						

団体ID	団体名	個別事業ID	個別事業名	総合戦略の分野				事業の概要	想定されるスケジュール					備考
				しごと	子育て	まち	UIJ		H27	H28	H29	H30	H31	
B17	上越観光案内協会	590	S邸を核とする地域コンテンツ創造事業					地域の担い手になる者の定住を促進する為には、働く事だけでなく趣味や遊びを通じて生き生きとした暮らしの糧を得ることのできる場が必要であり、また時代や環境の変化に対応出来る柔軟な発想力を併せ持つ粘り強い産業振興が必要。上越地域の基幹産業の農業や観光の振興はもとより、自然志向型（信越トレール・冬期間のバックカントリースキー・スノボ・光ヶ原キャットツアー・クラブフールド妙高）等々、上越地域ならではの地域資源を生かした都市部との交流事業の更なる魅力化を図る。（UIJターンの取り込みを狙った）取り組みとして日本人のみならず、旅慣れた外国人旅行者に対し、日本の雪国の原風景を残す築400年の古民家(江戸初期)と約3000坪の庭園、山林、農地を持つ清里区のS邸を有効利用し体験型ゲストハウス及びカフェ＆レストラン・パン工房・ケーキ工房・地域の生産者が作る、美味しくて安全な米と野菜の販路開拓販売。訪れた人々にこの地域に豊富にある自然・歴史・文化資源などをピンポイントで案内しこの地のファンになってもらい共に適切に保全する。上越地域の過疎地固有（中山間地）の地域資源　雪・食・住・環境を組み合わせながら取り組む（休耕田を利用する山菜園や雪を利用した抑制栽培など）基盤を作り、この古民家を新たな地域のコンテンツとして位置づけ上越地域（糸魚川・十日町）の顧客志向宿のモデルを目指す。	関係団体との協議調整・サービス提供の為の準備・一部サービスの開始	サービス提供の為の準備・サービスの開始	継続	継続	継続・実施内容の評価・検証	
B18	頸城観光協会	600	観光による地域活性化	○		○		頸城地域協議会で平成２４年に区内の地域団体等に地域活性化の為の事業提案を促したところ６５項目の意見や提案が寄せられ、頸城区に貴重な歴史・文化自然資産があり、これらを地域で守り、ＮＰＯや住民団体があるが、地域を上げて魅力を総合的に、企画、発信する機能に欠けている。観光を核とした地域振興策が必要であるとの多くの声があがり、これを受け地域協議会が区内の各団体に対し、連携した地域振興による、地域振興への参画を呼びかけたところ多くの賛同を頂き、地域が主体となって、取り組む、頸城区観光協会の設立を中心とした、【観光振興を核とした頸城区地域活性化事業】を地域を元気にするために必要な提案事業として、提案した。上越市の第６次総合計画の［すこやかなまち～人と地域が輝く上越～］に合致するものとして第一号に認定していただいた。	頸城区観光協会設立 ・観光コーナーの整備 ・電話、ホームページの開設 ・新総合事業の送迎用の車を購入し、空いているときの活用 ・活動の定着					
B19	上越ワーキングネットワーク	610	共同受注・共同販売事業	○				・平成22年4月1日に市内の障害福祉施設のネットワーク（上越ワーキングネットワーク）を設立した（7月1日現在市内外15施設加入、利用者約500人） ・ネットワーク設立以前は基本的に各施設での仕事の受注となっており、大規模な仕事の受注は困難であった。 ・共同で受注することで大規模な仕事の受注も可能となる。 ・ワーキングネット内に、共同受注・共同販売に関する部会を設置し、活動している。	継続	→	→	→	→	
B20	NPO法人上越地域活性化機構	620	デジタルサイネージ事業	○				【目的】 デジタルサイネージのネットワークを構築することで、ICTを活用した情報伝達の基盤を確立し、地域を活性化します。 1.上越地域の情報ターミナルを確立し、日本一のICTを活用した街を目指します。 2.上越妙高駅を核として上越を訪れた人々を地域へ誘導します。 3.交通の各拠点にデジタルサイネージネットワークを構築し、利用効果を高めます。 【事業内容】 （1）デジタルサイネージの機器販売、設置 （2）デジタルサイネージの運用管理、保守 （3）広告営業 （4）コンテンツ制作 （5）地域の観光・産業さとの情報発信 （6）デジタルサイネージの普及拡大 （7）災害時等の緊急情報発信	デジタルサイネージ2台設置、ルートコンシェル機能追加	デジタルサイネージ普及拡大、4ヶ国語対応	デジタルサイネージ普及拡大	→	→	
B21	東京海上日動火災保険株式会社（を含む東京海上グループ企業）	630	東京海上グループソリューションによる地方創生実現サポート	○				●BCP策定支援（（株）東京海上日動リスクコンサルティング） 「巨大災害時の減災、早期復旧・復興に向けたBCP策定支援（※自治体との連携要）」	各種団体保険制度サービス提供中。その他について関係団体との協議。	サービス提供準備・開始	サービス継続	→	サービス継続、実施内容の評価・検証	
B21	東京海上日動火災保険株式会社（を含む東京海上グループ企業）	640	海外輸出支援	○				●海外輸出支援（（株）東京海上日動リスクコンサルティング） 「輸出先国の法規制調査」「製品リスク洗出し」「取扱説明書・警告ラベル診断」「海外PL制度」	各種団体保険制度サービス提供中。その他について関係団体との協議。	サービス提供準備・開始	サービス継続	→	サービス継続、実施内容の評価・検証	
B21	東京海上日動火災保険株式会社（を含む東京海上グループ企業）	650	農業経営安定化支援	○				●農業経営安定化支援（東京海上日動火災保険㈱、㈱東京海上日動リスクコンサルティング） 「異常気象災害時のリスク低減（※金融機関様と提携要）」「食中毒事故対応、品質管理コンサル）」	各種団体保険制度サービス提供中。その他について関係団体との協議。	サービス提供準備・開始	サービス継続	→	サービス継続、実施内容の評価・検証	

団体ID	団体名	個別事業ID	個別事業名	総合戦略の分野				事業の概要	想定されるスケジュール					備考
				しごと	子育て	まち	UIJ		H27	H28	H29	H30	H31	
B21	東京海上日動火災保険株式会社(を含む東京海上グループ企業)	660	外国人観光客の緊急時医療相談窓口開設	○				●外国人観光客の緊急時医療相談窓口開設(東京海上日動メディカルサービス㈱) 「日本国内での外国人向け医療相談(英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語対応)」	各種団体保険制度サービス提供中。その他について関係団体との協議。	サービス提供準備・開始	サービス継続	→	サービス継続、実施内容の評価・検証	
B21	東京海上日動火災保険株式会社(を含む東京海上グループ企業)	670	人材採用・雇用対策	○				●人材採用・雇用対策(㈱東京海上日動キャリアサービス、東京海上日動火災保険㈱) 「社員採用時の人材紹介」「代理店候補生の採用・育成による雇用創出」	各種団体保険制度サービス提供中。その他について関係団体との協議。	サービス提供準備・開始	サービス継続	→	サービス継続、実施内容の評価・検証	
B21	東京海上日動火災保険株式会社(を含む東京海上グループ企業)	680	団体保険制度による企業防衛	○				●団体保険制度による企業防衛(上越商工会議所、東京海上日動火災保険㈱) 「海外PL制度(グレーゾーン対応型)」「業務災害補償制度(ストレスチェックサービス付帯)」	各種団体保険制度サービス提供中。その他について関係団体との協議。	サービス提供準備・開始	サービス継続	→	サービス継続、実施内容の評価・検証	
B21	東京海上日動火災保険株式会社(を含む東京海上グループ企業)	690	女性の活躍推進に向けた環境整備		○			◆女性の活躍推進に向けた環境整備(東京海上日動メディカルサービス㈱) 「小児緊急電話相談を含むメディカルコールセンターによる働く女性サポート」	各種団体保険制度サービス提供中。その他について関係団体との協議。	サービス提供準備・開始	サービス継続	→	サービス継続、実施内容の評価・検証	
B21	東京海上日動火災保険株式会社(を含む東京海上グループ企業)	700	CSR活動としての教育支援		○			◆CSR活動としての教育支援(東京海上日動火災保険㈱) 「みどりの授業(環境啓発)」「ぼうさい授業(災害対策)」※小学校向け	各種団体保険制度サービス提供中。その他について関係団体との協議。	サービス提供準備・開始	サービス継続	→	サービス継続、実施内容の評価・検証	
B22	上越商工会議所政策委員会(青年部)	710	～ストレスフリーなまちづくりで、交流人口を増やす！～ 日本海側で初めての「老いを楽しめるまち」を作る！					・「ストレスフリー」「老いを楽しむ」「有意義に生きる」をキーワードとしたサクセスフルエイジングを体現できる街づくりを推進し、交流人口の拡大を図る。 ・上越地域の特性を活かし、首都圏に住むリタイア世代の生活体験パッケージ『心身ともに健康でアクティブに生きる』を構築する。 ・構築にあたっては産業界(農・林・漁・商・工)、学術機関、先進地域と連携。 ・パッケージ例として、 ・発酵食品で健康に！　・日本酒でジャパンパラドックス～上越の酒で老けない人生を！ ・雪中運動で健康に！　・体験農園でリフレッシュ！　・・・など ・当地に滞在してもらうにあたっては、空き家(市街地・山間地)、農園などを有効活用する。 ※地域住民との交流を通じ地域コミュニティーに溶け込み、上越市を好きになってもらう。 ・さらに、社会的ストレス過多が引き起こ“未病”(病気ではないが健康でもない状態)に関する研究も行う。 ・地元企業が連携し、未病改善に取組み、データを集積することで次世代に活用。 ・「老い」を研究する機関を設置し、福祉・医療・教育分野に活かす。 事業共同体(構成団体は下記想定) ・自治体(新潟県及び上越市) ・民間企業(健康産業関連企業など) ・大学・研究機関(上越教育大学など) ・連携協力自治体 ※上越商工会議所青年部→事業共同体への側面的支援を担う		首都圏のリタイア世代のニーズ把握（おためしツアーの実施など）、未病改善への取組みデータの収集	「アクティブシニアに向けた生活体験パッケージ」づくり	以後は、上記取組みを基とした“老い”を学ぶ「老年学」の研究 → 先進地域を目指す		
B23	平安セレモニーグループ	720	結婚支援サポート事業		○			事業背景 ・若い世代の結婚離れは、情報化社会、社会情勢の変化により、お付き合いに消極的な男女が増加している傾向が原因でもある。お付き合いの楽しさ、結婚を目的とすることの理解の必要性、その為には、まずは自分に自信をつけてもらい、出会いの場を提供した上で、積極的にお付き合いを後押しすることが求められている。 事業内容 ・未婚の方が、自分に自信をつけて婚活出来るように、自分磨きが目的のプライムレッスンの開催。 ・未婚の方同士がお付き合いの相手を見つける婚活パーティの開催。 ・登録者同士の紹介シートを用いたお見合いシステムの導入。 ・登録者へ専任のコンシェルジュが丁寧に、その方に合ったサポートを行う。	登録者の拡大、民間企業との協力体制の構築。実績形成。	行政とのタイアップ、官民一体となった婚活支援の取り組みを実施したい。	継続	継続		
B24	上越商工会議所政策委員会(女性部)	730	上越商工会議所　めぐりあい事業		○			・「上越商工会議所　めぐりあい事業」と題し、会員企業従業員の独身男女の出会いをサポートし、当市での結婚・就業・定住、そして人口減少の克服(少子化対策)を目指す。 ・会員企業約2000件のスケールメリットを活かした男女の出会いの場を提供でき、会議所が行うことで参加する男女にとっては安心感(送り出す企業も同様)がある。 ・従業員が出会うことで異業種交流にも繋がり、企業側にとっても会社経営の活性化となる	事業の企画・立案	事業の企画・立案／検討／実施？	イベントの実施	イベントの実施	イベントの実施	参考資料

団体ID	団体名	個別事業ID	個別事業名	総合戦略の分野				事業の概要	想定されるスケジュール					備考
				しごと	子育て	まち	UIJ		H27	H28	H29	H30	H31	
B25	上越助産師会	740	母子保健事業		○			(1)会員　施設勤務と個人開業 (2)事業内容 ①助産師会　いいお産の日　10/24　妊婦10名に沐浴プレゼント ②上越市母子保健事業 ③妙高市母子保健事業 ④性の健康講座 ⑤その他 個人開業で沐浴、乳房ケアー、助産院経営、上教大講師、上越看護学校講師など	10/24　いいお産の日「生れる」上映会、沐浴プレゼント、よろず相談					参考資料
B26	NPO法人マミーズ・ネット	750	子育て支援はまちづくり		○			○子育て親子の居場所づくり ・地域で支えあう仲間作りと「孤育て」の解消を目的とする						参考資料
B26	NPO法人マミーズ・ネット	760	子育て情報の発信		○			○子育て情報の発信 ・じょうえつ子育て応援誌 With Kids の発行 ・JCV『子育て応援団』の企画参加 ・地元密着のすぐに使える子育てに役立つ情報の提供 ・じょうえつ子育てinfo 上越市で子育てする人、特に転入者や初めて子どもをもつ親等に向けて、利用できる子育て支援制度や民間の情報、地域で子育てするために知りたい情報などを1人1人に合わせて伝え、コーディネイトを行う。						参考資料
B26	NPO法人マミーズ・ネット	770	学習・啓発活動(講座・フォーラムの開催)		○			○学習・啓発活動(講座・フォーラムの開催) ・子育て及び子育て支援に関する講習の実施 ・企業への出前子育て講座の実施						参考資料
B26	NPO法人マミーズ・ネット	780	子育てサークル支援		○			○子育てサークル支援						参考資料
B26	NPO法人マミーズ・ネット	790	保育コーディネート		○			○保育コーディネート						参考資料
B26	NPO法人マミーズ・ネット	800	ライフステージリレーネットワーク事務局		○			○ライフステージリレーネットワーク事務局 ・平成26年度新潟県地域少子化対策強化事業「地域ネットワーク構築事業」として発足・上越地域で出会い・結婚・妊娠・出産・子育てに関わる37団体が参加している。						参考資料
B26	NPO法人マミーズ・ネット	810	地域ができるネウボラ型支援プロジェクト		○			○地域ができるネウボラ型支援プロジェクト ・新潟県少子化対策モデル事業として今年度から29年度まで実施 ・「地域のネウボラ(地域の助言の場)」を開設し、精神的、時間的にゆとりをもって子育てできるように支援を行う。						参考資料
B26	NPO法人マミーズ・ネット	820	子育ていちばんはこの上越で事業		○			○イメージ戦略 ・フォーラムを開催し、「子育ていちばんはこの上越で」を全国にPRし、U・Iターン者を呼び込む。上越で暮らすあらゆる世代に対して上越が子どもを産み育てやすいまちであることをPRし、上越を選び住み続けたいと考える若年層を増やす。実施主体としては、官民、大学やNPO等が連携して行う。						
B27	LLCまちみらい直江津	830	直江津地域観光のランドオペレーター事業	○		○		1)背景 ・上越市の観光戦略においては選択と集中により「上杉謙信公」による観光イメージの確立を掲げ、重点エリアとして「謙信公の居城・春日山城跡周辺」と「花と雪の城下町高田」を集客の目玉とし、そこから市内各所の観光資源への周遊を目指しているが、直江津観光の生きる道は果たしてその戦略でよいのか？否、市の方針を踏まえつつ、直江津独自の観光戦略が望まれるところである。 2)目的 ・直江津の5つの観光コンテンツを戦略をもって発信し、事業化していく。 ①首都圏から一番近い日本海・直江津 ②親鸞さまに会えるまち・直江津 ③迷路のような路地のまち・直江津　→「人々が生き生きと暮らすまち・直江津 」の実現 ④旅情あふれる物語のまち・直江津 ⑤祭りに燃える浜っ子のまち・直江津 3)実施内容 ・観光、旅行斡旋に関する広告、宣伝、手配、観光案内に関する業務 ・まちあるきツアーの実施業務 ・観光素材の開発と情報発信業務 ・地産地消による関連産業の振興業務 4)実施体制(協力・連携団体) ・現在模索中ですが協力体制を構築したい団体、組織として上越市、上越市観光コンベンション協会、JTB等旅行業者、地元旅行代理店等の皆様、地元商店街、地域の食文化のネットワークの皆様など						
B28	高田本町まちづくり株式会社	840	イレブンプラザ　イベント誘致事業			○		イレブンプラザイベント広場へのイベント誘致 ・商店街への来街のきっかけとして、イレブンプラザイベント広場への毎週末のイベント誘致をおこなう。 ・「毎週何かやっている商店街」というイメージの確立。 ・商店街店舗や他団体と連携し、イベント来場者による商店街の回遊及び、店舗への経済波及効果を目指す。	事業実施・実績の検証	左同	左同	左同	左同	

団体ID	団体名	個別事業ID	個別事業名	総合戦略の分野				事業の概要	想定されるスケジュール					備考
				しごと	子育て	まち	UIJ		H27	H28	H29	H30	H31	
B28	高田本町まちづくり株式会社	850	本町商店街出店サポートセンター			○		○本町商店街出店サポートセンター 物件情報、補助金情報、商店街の情報をひとつの窓口で提供し、本町商店街への出店希望者のサポートを行う。本町商店街の空き店舗を管理する不動産業者・地権者・商店街・上越市・商工会議所と連携し出店希望者へ有益な情報提供を行なう。 月～金9時～18時開設中(要事前連絡)	事業実施・実績の検証	左同	左同	左同	左同	
B28	高田本町まちづくり株式会社	860	本町商店街空き店舗巡りツアー			○		○本町商店街空き店舗巡りツアー 本町商店街の空き店舗物件内部を見学するツアーを企画・開催。 すぐに出店を希望する人から、いずれは起業したいと考えている人まで、気軽に参加できるツアー。 物件の情報だけではなく、街の雰囲気を体験してもらえるよう、イレブンプラザでのイベントの様子なども見学してもらっている。 不動産業者、地権者と連携してツアーを開催している。 2カ月に1回開催予定(第1土曜日)	事業実施・実績の検証	左同	左同	左同	左同	
B29	上越商工会議所政策委員会(大島G)	870	高田まちなかの「潤いとやすらぎのまちづくりプロジェクト」(新5か年計画)	○	○	○	○	●高田駅中心市街地に、人々が集まる賑やかなまちづくり事業(四つの事業)の展開。 ●このプロジェクトは、第一次計画(H14～26年実施)の実績と評価を生かし、引き続きH28～32年の5か年を第二次計画として推進していく。 ●新計画は、高田駅周辺の「寺町、暮らし・福祉エリア」・「本町、商業業務エリア」、「仲町、食文化・商業エリア」・「駅周辺の発達障害研究・研修エリア」、四つの拠点 に新たな業務機能を導入し、みんなで連携しあうまちづくりを推進する。 ●新計画は、第一次計画の成果である、居住人口の回復(流失世代の回帰)・雇用人口の増加 (新・起業化によるしごとづくり)・交流人口の拡大(来街者)を最重要課題としている。 駅まちなかに人々が集まり・働き・暮らし・買い物客等で賑わうための起業化を一層進め、 まちなかの活性化に取り組む。 ●事業化に要する体制・人材・事業用地は、相当部分を確保している。今後グループの各事業者(企業)がエリア別の実施計画を作成のうえ、事業着手に取り組む。なお事業化は、町内会・事業者・地域・大学・病院・行政等の多様な人々と連携を推進する。 ●新計画の「四つの事業」は、別紙提案書の通り。	グループ企業の調整・連携、実施計画の作成、行政等の協議	エリア別の関係者協議、実施計画作成、補助事業協議、一部事業着手	事業着手、一部業務開始(サービス提供)	事業継続・事業の進行管理(点検・評価・見直し・改善等、経営改革事業創造室の活用)	事業継続、計画見直し・	
B30	城下町高田花ロード実行委員会	880	オープンガーデンとアートで繋ぐまちづくり	○		○		取組概要・・・全国的に人気の高い「オープンガーデン」を景観作りやまちの美化、子供たちやシニア層への園芸療法に生かし、首都圏からの「スケッチツアー」を誘惑することにより、交流実行を増やし、中心市街地の活性化に役立てる。また、来るオリンピックに向けて、商店街を中心としたインバウンド観光を提唱する。 ターゲット・・・市民/東京近郊の「スケッチ画」「水彩画」「ボタニカルアート」などの趣味の団体/花や庭つくりに興味のある人達/町歩きや美味しい日本食が好きな外国人/雪や城下町が好きな外国人 実施のフローチャート・・・中心市街地を核に特色あるオープンガーデンのまちを作る。(ガーデンと温泉、バイキングバスケットの商店街、綺麗になれる庭、海辺のガーデンetc)、公共の施設や企業内の庭などは、シニアや子供たちの園芸療法や園地体験の場として構築していく。 →首都圏の「アート」サークルを対象にツアーを企画し誘客→食や物産、祭、年中行事などと合わせて地元住民とのコミュニケーションをはかり、継続的な交流と地域の活性化をはかる。以上の事業に、インバウンド観光を取り入れる。 協力体制・・・上越市/観光コンベンション/商店街/市民/博物館/温泉/旅行代理店/園芸業者	①スケッチツアー構築のためのニーズ調査 ②市内に向けてオープンガーデンの周知及びPR	①新幹線を利用した首都圏からの「スケッチツアー」のモニタリングツアーの実施と懸賞 ②市内及び近郊へ向けての、上越ならではのオープンガーデンルートの確立	①新幹線を利用した首都圏からの「スケッチツアー」の確立とプロモーション ②市内のこどもたち、シニアに向けての「園芸療法」や「景観作り」に関しての啓蒙活動を実施	前年度の結果を検証し、再構築→本事業の確立	①「オープンガーデン」をテーマにした上越市と首都圏の交流事業を行う。 ②市内各所に、園芸体験ができる場所作り、こどもたちやシニアが生き生きと花に親しむまちをつくる	
B31	直江津まちづくり活性化協議会	1010	ガイドマップ作成事業			○		平成26年度発行のガイドマップを最も来街が見込まれる夏季に増刷するとともに、平成27年度内に掲載内容の更新版を発行。直江津地区の魅力発信による誘客と街なか回遊の向上を図り、通年の賑わいづくりにつなげる。						
B31	直江津まちづくり活性化協議会	1020	鉄道資産利活用検討事業			○		京都など鉄道による活性化先進地区の視察や勉強会を実施して、「新潟県鉄道発祥の地・直江津」を発信する仕掛けづくりや鉄道資産も活用した地域振興策を立案。直江津地区中心部の活性化に向けた次年度以降の取り組みにつなげる。						
B31	直江津まちづくり活性化協議会	1030	新水族博物館活用検討事業			○		新水族博物館の平成30年開業を見据え、知見を有する専門企業も交え、同館を核とする街なか誘引・回遊策や同館周辺の整備計画を検討。直江津地区中心部の活性化に向けた次年度以降の取り組みにつなげる。						
B31	直江津まちづくり活性化協議会	1040	トキめき鉄道開業周年イベント事業			○		トキめき鉄道及び北陸新幹線の開業1周年を記念し、直江津地区の商店街や民間団体等が事業連携しながら、鉄道の歴史や直江津の食・文化等を紹介・販売するイベントを実施。直江津の魅力発信による誘客と街なかの賑わい創出を図る。						
B32	本町3・4・5商店街振興組合連合会	890	商店街活性化事業	○		○		1. 年間を通じて「観桜会・春フェスタ」・「七夕まつり」・「越後謙信SAKEまつり」・「城下町高田花ロード」・「本町茶屋、年金セール」・「レルヒ祭協賛」などのイベントを実施。 2. ショッピングセンターにはない専門性を重視し、個店の魅力向上のため、商店街逸品創出に取り組み、逸品創出事業「いーんだわ、これ」を実施。商品やサービスを紹介したパネル展示、見本市の開催。冊子等を発行した。 3. 小中学校で実施している上越「ゆめ」チャレンジ職場体験学習の各店での受け入れ。高田商業高校を中心に上教大・北城中・大町小が連携して店舗経営を行うRikkaへの協力。高田農業高校食品化学科で実施している山カフェへの協力。この活動を通り、次世代の子供達に仕事をする楽しさ、キャリア教育の応援をおこなう。 これらの事業を通じ、当商店街区の賑わいの創出および売上増進、中心市街地の活性化を図る。 協力体制・・・上越市／上越商工会議所／城下町高田花ロード実行委員会／(株)まちづくり上越／高田本町まちづくり(株)など	事業実施 実施内容の評価・検証	→	→	→	→	

団体ID	団体名	個別事業ID	個別事業名	総合戦略の分野				事業の概要	想定されるスケジュール					備考
				しごと	子育て	まち	UIJ		H27	H28	H29	H30	H31	
B33	NPO法人くびき振興会	900	地域の連携強化	○				現在、当団体は市から通園バス運行事業、コミュニティプラザ時間外受付事業、及び医者福祉事業を受託している。補助金事業として頸城の祭典、大池まつり、チャレンジスポーツ及びくびき文化祭を行っている。 そして、今年度から新たに地域支え合い事業を受託し、区民の生活に密着した活動を行っている。 それぞれの事業は一定の成果を上げているものの、若者、壮年者の参加が少なく、活動が区民全体の意向を反映しているかという点では課題がある。地区振興会や子ども会組織などを通して参加を募り各世代間の交流を促進・連携して活力のある活動に繋げて行きたい。	関係団体と協議	活性化組織の構築、活動開始	活動継続	活動継続、評価・検証・及び改善	活動の定着	
B34	NPO法人かみえちご山里ファンクラブ	910	地域再生を担う若者の人材育成「里創義塾」			○	○	①地域再生について専門的に学ぶ1年生、総寄宿の学校の運営「里創義塾」。 ②一般を対象とした短期間での座学による集中講義「里創義塾、夏期講習」の開催。 ③特別講師による地域づくりについての「公開講義」の開催。地域住民や地域づくりに関心のある人の学びの場を目指す。	運営・開校 一年目 二年目募集	継続	左同	左同	左同	参考資料
B35	寺野の自然と暮らそうサポートセンター	920	光は寺野から事業			○		※移住支援事業に取り組んでいます 実施体制「お試し移住ハウス(1泊￥1,000／一人当り)」による移住促進	ジャンベ(西アフリカ打楽器)による地域おこし	ランプの里「たなか」の充実・森の子供教室	ランプの里「たなか」の充実・古本カフェとワインバー	ランプの里「たなか」の充実・古民家のシェアハウス	継続	参考資料
B36	高田の文化遺産継承実行委員会	930	高田の文化遺産継承事業					○これまでの取組 1. 地域の文化遺産情報発信、人材育成事業 (1)『平成版・瞽女宿の記憶』編集事業(H25年度) (2)『高田の文化』発信事業(H25年度) (3)『高田の文化の語り部』育成事業(H25年度) 2. 地域の文化遺産普及啓発事業 (1)『高田瞽女シンポジウム』開催(H25年度) (2)『高田の文化体験ツアー』実施(H25、26年度) (3)『斎藤真一作品鑑賞@高田の雁木町家』展覧会の実施(H25、26) (4)雁木町家で瞽女唄体験事業(H25、26年度) ○今後の予定 H27　秋に瞽女資料館「瞽女MUSEUM高田」を開設。 11月21日、22日「体験ツアー」を実施。 H28　2月のレルヒ祭の時に「瞽女の門付け再現」を実施。						
B37	Pens Renovation & Planning Organization(代行) 社会システム研究所(株)(事業主体)	940	「時系列人口動態分析システム」の開発 他					・上越市は2040年での出産女性の推定減少率は43.3%で消滅都市のリストには入っていない。しかし都市部を除く各区のほとんどが消滅可能都市に入る。各区の特性を生かした計画を作る。 ・日本創成会議の分析指針は以下の点で分析の視点が欠けている。 ①人口の推計を5歳階級別に行っているがこの方法では5年毎にしか正確な評価が出来ない。②移住者の促進やUIJターンのようなゼロサム政策を推進するのは誤っている。③属性を年齢と性別のみで行っているが出生率に大きな影響を与える配偶関係や世帯なども考慮して分析する必要がある。 ・人口は人口変動の3要素の「出生」「死亡」「移動」のうち「出生」と「移動」をコントロールすることを目途とする。特に出生率の向上がキーポイントになる。出生率の低下は結婚しない若者が増えたことに起因するが結婚に至るプロセスの変化に着目し分析を行う。現在我々が開発中の「時系列人口動態分析システム」によるシュミレーション結果を用いて分析を進める。 ■事業概要 ・「時系列人口動態分析システム」の開発 ・調査分析を行い、研究会で結果発表。(これまで静岡県小山町と宮城県亘理郡山元町について分析) ・分析のマニュアル作成および政策的アプローチ	プレゼンテーション	調査・分析/研究会開催/マニュアル作成	29年度より3か年度にわたる実施			参考資料
B37	Pens Renovation & Planning Organization	950	雪のふるさと/古民家・町家再生リノベーション事業	○		○		◇上越市および上越市を含む広域での古民家の活用、上越市高田地区における町家の活用の調査研究、ビジネス化	調査研究/企画作成	ビジネス化準備期間	事業スタート			参考資料
B39	頸城自動車株式会社	960	乗合バス事業			○		人口急減、超高齢化、車社会の進展、交通体系の変化等を踏まえつつ、まちづくり施策と連携し、地域公共交通の活性化に取り組んでまいります。 〈路線再編の取り組み〉 ・上越市総合公共交通計画(H27～H31の5ヶ年計画)に沿って、これから市内のバス路線の具体的な再編実施計画を検討・策定していく予定です。 ・生活に密着した通学・通院・買い物の足として、また、高齢者の外出を応援するようなバスを目指して取り組んでいきたいと考えています。 ・また、新幹線駅からの市内二次交通の整備も含めて取り組んでいく予定です。 〈利用促進の取り組み〉 ・市で作成された公共交通時刻表や公共交通利用ガイドの作成・配布への協力 ・高齢者(70歳以上)を対象とした格安フリー定期券の販売 ・小学生を対象とした運賃50円「夏休みバス乗車体験」キャンペーンの実施 ・子育てジョイカード所有者を対象とした割引運賃(1乗車100円)の提供 ・高校生を対象とした区間・便限定の通学100円バスの実施 (高齢者や子どもたちを対象に、気軽に路線バスを利用して外出していただける企画商品を提供し、人の交流を増やして地域の活性化につなげる取り組み。)	総合公共交通計画に基づき、再編実施計画の検討・策定。合わせて、バス利用促進に取り組む	再編実施計画に基づき、実施	継続、実施内容の評価・検証	見直し、継続	継続、実施内容の評価・検証	

団体ID	団体名	個別事業ID	個別事業名	総合戦略の分野				事業の概要	想定されるスケジュール					備考
				しごと	子育て	まち	UIJ		H27	H28	H29	H30	H31	
B40	北越急行株式会社	970	地域ローカル鉄道としてのほくほく線の利便性向上と魅力作り					・超快速列車を始めとして列車全体のスピードアップを図るとともに、他鉄道との接続を改善し、速達性を向上させる。特に上越新幹線との接続に力を入れ、上越市東部エリアと首都圏とを身近なものに結び付ける。 ・地域のイベントに合わせた臨時列車や団体列車を臨機応変に設定して利用促進を行う。 ・地域の保育園から高校生までの遠足や体験に重点を置き、利用促進だけでなく市民のマイレール意識の醸成に貢献する。 ・マルシェ列車やクリスマストレインなど独自のアイデアでイベント列車を運行し、楽しむ鉄道という面を充実させていく。						
B41	しゅしゅクラブ	980	「女性の経験を生かした子育てシステム～子守り電車／子守りバス～」の提案		○	○		取組内容 ①子育て経験者(市内女性)が中心となり、電車やバスを利用した子守りプランを実践し、未来の子供達を地域ぐるみで育てる環境を作る。(親子でも利用可能とする) ②月に1回～2回の約2時間程度の子守りをすることで、保護者の息抜きの時間を作り、子育てに優しい公共交通を目指す。 ③子供が小さい頃から電車やバスなど公共交通に触れることで、公共マナーやコミュニケーションの学びの場を構築する。 ④幼児を対象とした商品やサービスを事業としている大手企業の参画で、安心安全で快適なグッズやサービスを作り、他地域と差別化をはかれる二次交通を利用した子育てプランを実現する。 ⑤家族での二次交通利用や、上記サービス利用でおむつやミルク等の購入ポイントがたまる仕組みを作る。(新しい二次交通を応援する仕組み作りにも繋げる) 事業推進者　市内の子育て経験のある女性(50～60代を想定)／在来線事業者 ／バス事業者／大手子供向け商品、サービス関連事業者／保険会社 ／人材バンク等を想定。	*市内子育て世代のニーズ調査／子育て世代と二次交通利用のニーズの調査	*子守り電車、子守りバス実施に向けての関係各所との協議と内容の確立 *受け手に関しての内容検討及び労働条件等の協議	*子守り電車、子守りバスのモニタリングと検証→プランやサービスの構築／関係企業との連携確立	*事業実施にあたり、人材バンクの確立とプランやサービスのPR	*事業実施と検証→修正→再構築	
B42	にいがた青年海外協力隊を育てる会	990	グローバルとローカルの両視点を持つ人材紹介事業				○	○青年海外協力隊のJICAボランティア事業に対する地域理解と支援輪の拡大 実施例：上越地区の首長に新隊員の表敬訪問 ○青年海外協力隊等のJICAボランティア事業参加者への地域協力支援 実施例：青年海外協力隊・シニアボランティアの春・秋2回の募集説明会 ○地域社会における国際理解・交流及び開発教育の推進と人材育成 例：地域の団体・学校などに出前講座の開催。地域のイベントに参加。 実施例：上越教育大学付属小学校においてネパール地震における出前講座。 ナマステ募金(賛同企業・店等150店)と共同で行っている。 ○地域社会にグローバルとローカルの両視点を持つ協力隊員を多様な価値観を持つ社会に紹介する。 例：隊員OBによる出前講座及び報告会。知識人の講演会。現職参加の説明。 実施例：募集説明会におけるOB隊員の帰国報告会。	○の項目を随時	→	→	→	→	
B43	株式会社上越タイムス社	1000	上越地域と首都圏を「つなぐ」プロジェクト	○	○	○	○	上越タイムス社は3年前から、人口減少とそれに伴う活力の減退を少しでも防ぐ一助になればと、「上越タイムス」紙面上に首都圏面を設け、報道機関強みである情報の受発信を生かし、首都圏とのつながりを強めてきました。 3年間の「つなぐ」活動で①ふるさと上越の人口減少は急速に進んでいる②首都圏在住の上越出身者が非常に多い③出身者のふるさと貢献意識が高い、という事実を確認しました。北陸新幹線・上越妙高駅の開業を機にこうした人たちと交流を進めるには、①上越からの情報発信②首都圏側からふるさとと上越に向けた情報の受信③首都圏の出身者同士をつなぐ情報提供、が必要と思われます。あらためて、上越には、首都圏に「つながりたい」と思わせる魅力がある、首都圏には、上越と「つながりたい」と考える”上越人”がいる。このことから、当社の持つ情報を生かし、行政、団体、他企業と協力して地域活性化をすすめていきたい考えです。 当社ですでに進めている「つなぐ」プロジェクトは、日刊紙面の首都圏版編集、首都圏向け「月刊紙」の発行をはじめ18事業、今後の実施をめざす「つなぐ」プロジェクトは19事業を整理しています。 ○実施している「つなぐ」プロジェクト ①上越タイムス紙の首都圏版編集　②「月刊上越」の発行　③上越3市の出身者組織との連携 ④上越地域の高校同窓会の首都圏組織との連携 ⑤ふるさと支援の市民活動団体やNPO法人との連携　⑥東京新潟県人会との連携 ⑦東京えちご祭りの上越出身実行委員との連携 ⑧フェイスブック新潟県人会との連携　⑨ネオ東京新潟県人会との連携　⑩3市の空き屋情報の提供 ⑪掲載情報によるビジネスや取り引きの結び目づくり　⑫首都圏の上越ゆかりの店紹介 ⑬物産の販促つなぎ交流推進　⑭3市出身のタレントや芸能人、スポーツ選手らの応援 ⑮小中学生による修学旅行の強度アピール活動や物産販売活動サポート ⑯講演・フォーラム講師の斡旋、仲介　⑰北陸新幹線の開業を機にした里帰りプロジェクトの支援 ⑱Iターン、Uターン、Jターンの支援 ○今後の実施をめざす「つなぐプロジェクト」 ①首都圏に進学、就職した卒業高校生に「月刊上越」と広報紙を成人まで配布する事業 ②上越教育大と県立看護大の卒業生との連携　③ふるさと産品の通販事業の展開 ④上越市の有楽町常設マルシェの運営支援　⑤交流イベントの企画・運営、主催 ⑥首都圏と上越を結ぶ文化賞の創設　⑦3市のふるさと納税の紹介とPR ⑧ふるさとにエールを送る便りや投稿の奨励　⑨出身者がガイドを務める首都圏ツアーの企画 ⑩ゆかりの施設や会社、工場めぐり企画　⑪ふるさとツアーの企画 ⑫商工団体とタイアップした上越・東京経済懇談会の企画、主催　⑬婚活イベント企画　⑭就活イベント企画 ⑮出身者の若者懇親会　⑯ちりつもプロジェクトの支援　⑰前島密顕彰の年賀状コンテストの実施 ⑱前島密ゆかりの横須賀市との交流促進　⑲郵政博物館との連携	実施済みならびに実施中事業の評価、実施予定事業の精査	新しい「つなぐ」手段とツール開発の可否の検討と評価	実施事業の総合評価と継続事業の選別、実施予定事業の絞込み	個別事業評価と改善	安定的に継続すべき事業の精査	